



第14回 講師：有限会社タカハシレーシング 代表取締役 高橋勝大氏

テーマ：「親父の小言」

10月29日、第14回AD塾は、講師に異業種とも云うべきカースタント・ボディスタントの日本における草分け的な存在であるタカハシレーシング代表 高橋勝大氏をお招きして開催されました。高橋氏は、歌舞伎の義太夫であった父親、そして殺陣師であった兄の影響を幼少の頃から受け、3歳で歌舞伎の舞台に立ち、かたや馬にまたがり撮影所内を走り回った時代を経て、スタントの世界に入られたそうです。普段のトレーニングシーンの映像を交えて伺いましたが、「常に本番に近い危険を伴うシーンを想定して練習を行っているからこそ本番ではいかなる状況下においても成し遂げられる」とお話し頂きました。映像ではオートバイでの30mジャンプや転倒シーン、自動車での片輪走行、そして火炎の中の走破シーンや身体中火ダルマのファイヤースタントなど、どれをとっても一歩間違えれば死と隣り合わせの世界でした。高橋氏は「これは出来る、これは出来ないではなく、何でも出来るスタントマンになりたいかった」と、武道合わせて36段を有し、何でもこなせる自信を身に着けたそうです。だからこそ、撮影で起こり得るどんな状況変化にでも常に対処することができ、絶対的な信頼を収めるようになりました。また自転車と車の衝突シーンなど実際の交通事故を模擬的に子供たちに観てもらった交通安全教室も高橋氏が日本で最初に行ったそうです。緻密な計算と経験、日々の練習の積み重ねがあってこそ出来るスタント。たとえ本番中に怪我をしても、収録中は止めることなく続ける高橋氏。職種は違えどもプロとしての取組み方、そして考え方を改めて勉強させて頂きました。今はJAFさんの撮影でも大変お世話になっておりますが、これからもエンターテインメントには無くてはならないスタントを今以上に発展させ、そして今以上に私たちを楽しませて頂きたいと思っております。本日はありがとうございました。



第15回のご案内はもう少々お待ち下さいませ！

取締役副社長
文責：横田 郁夫

～先月号の訂正とお詫び～

先月号の内ページ、第5プロジェクトの原稿において誤りがありましたのでこの場をお借りして訂正と、関係者の方々にお詫び申し上げます。
正しくは、右記の通りとなっております。

浅井康宏

時絵宝石箱「街の空」



奥山峰石

打込象嵌花器「高原の春」



編集：石川 華奈子

～ Time has come ～
ADproject は進化します。



ゼネラルプロデューサー
檜垣 俊幸



代表取締役社長
檜垣 俊吾



代表取締役会長
岩澤 二三夫



副社長
横田 郁夫



取締役専務
岩澤 はやと

ご意見・ご感想は adtain@adproject.co.jp まで メールでお寄せください。
発行：株式会社エーディープロジェクト 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-29 共同ビル

www.adproject.co.jp



adproject 公式 facebook を check

adproject がお届けするエンターテインメント情報を随時UP!!

皆様の いいね！ をお待ちしております。

facebook adproject



もしくは、<https://www.facebook.com/adproject.japan>

2013 11
vol.018

**新社長
挨拶**

代表取締役社長
檜垣俊吾 (38歳)



■CONCEPT
Identity
主体性
■THEMA
Communication
共生と対話

創業精神を忘れない組織

■忘れない正義の精神を大切に

始めまして、三代目の株式会社ADプロジェクト代表取締役社長を拝命されました檜垣俊吾でございます。東京オリンピックもバブル期も知らない世代の、怖いもの知らずの若輩者ですがご指導、ご鞭撻の程をよろしく御願い申し上げます。

皆様にお役に立てる会社として、時に流されない明るく、楽しい組織として創業の精神を大切に、元気の出るソフトの提供に努めて参ります。先輩達が築いてきたエンターテインメントとポジティブ・マインドの価値を具体的にお役に立てるサービスメニューとして整理し、誰にも分る「おもてなし」の精神として具現化するのも、私達に渡された次のバトンであると思っています。

そして、私たちの会社が存在する事で「明るく希望を持てる社会に成る事」と言われる様に頑張っていきたいと思っています。

更に、社内外に関係なく皆様の楽しい暮らしへのご提案を具現化する組織として、新たな役割を社会を磨くコミュニティーづくりにも努めて参ります。

新生ADプロジェクトとしての、新たな誕生の精神を強化、若い仲間と共に、尽きる事のない活動を起こします。

なんでも、声をかけていただける組織として、ADネットワークの充実にも努めて参ります。ご期待ください、新生ADプロジェクト！



Positive mind
ADTAIN
adproject-entertain newspaper

石川華奈子の突込みインタビュー

新社長に聞く？

Q1. 幸せですか

幸せな方だと思います。

Q2. 嬉しいですか？

ここ最近でうれしいことは子供が頑張って背中を押してくれたこと。

Q3. 好きな女性

ほがらかな女性。

Q4. 理想の男性

実力のある男

Q5. 初恋はいつ？

保育園の時

Q6. 本当の自分

いつも不安との戦い。

Q7. おやじの魅力

とにかく喋る。歌う。叫ぶ。

Q8. いやな事

台風が来ると頭痛が始まる。

Q9. 好きな事

目的もなくとにかく出かけること。

Q10. 社長の魅力

誰よりも働き、稼ぎ、楽しんで仕事する。

今月の一言

コピーライター 村野 文香

タタター

禅の言葉で“真如”。あるがまとも誤され、「疲れたら眠り、飢えたら食べる」それが平常心と説いています。しかし、そのあるがままが、ままならない。雑念でがんじがらめになったら、せめてものおまじない。「タタター」と叫んで心を平らにしてみよう。



PRODUCER: カデット 葉子

Project 1.

第1プロジェクトです。

入社してから8年間、弊社代表の楢垣俊幸のもとで毎日怒鳴られながらも(?)他ではなかなか経験できないほど、たくさん事を学ばせていただきました。そして今期より営業部に配属となったため、新たな視点を持つべく、日々周りの会話を盗み聞きするように耳を傾けています。これまで、楢垣俊吾プロデューサー改め新社長が率いてきた、独自の「塩加減」基準とやらで人や物事を測る元編集者、「(女性は)もうお腹いっぱい…」が口癖の元クルマ販売店の営業マン、ビックリするほど化粧が早い新卒女子の3名との第1プロジェクト。会話でバトルが始まるほど口が立つメンバーの中、口下手な私は話術を習得できるのでは?と微かに期待しています。

そんな第1プロジェクトは、バイクやクルマ関連の仕事が多く、走り好きの私としてはバイクの免許も取得するチャンスかな?と勝手に“ときめき”を感じておりましたが…。実は、仕事の上でも、日々の生活の中でも、食べるものでも、いつの間にか“ときめき”を基準に判断したり、探し出したりすることが多くなりました。(決して、片づけコンサルタント近藤麻理恵さんの影響ではございません。)ちょっと辛くなるような仕事をしていても何かその対象があれば、楽しくもなります。(柄じゃないでしょ…と思われようといひです。)見積書の数字に、一緒に仕事をしている相手に“ときめいている”人もいないのではないのでしょうか?男性が男性に、女性が女性に、そんな時もあるはずです。この場合、ちょっと語弊があるかもしれませんが…。

そんな“ときめき”を相手に感じてもらえる人に、それぞれが成長できることが理想です。仕事の早さでも、人柄でも、履いている靴でも「あ、いいな。」と思ってもらえるように。もしも、何か感じて頂けたならば是非、ご連絡ください。

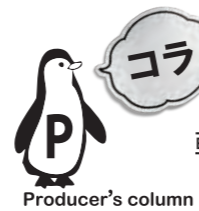
“塩加減”が基準
初瀬川 裕介



“ももクロ”が歌える
阪本 崇裕

“ときめき”が基準
カデット 葉子

無類のキティ好き
山崎 涼香



韓国ソウルのイテウォンはゲイの集う街!

EXECUTIVE PRODUCER: 岩澤 はやと

ソウルの中心街近くにあるイテウォンは外国人が多く行き交う国際色豊かな街である。ショッピングや世界各国の料理が楽しめるとあって大変賑やかである。その一角にゲイのクラブやバーが密集する通称『ホモ・ヒル』と呼ばれるエリアがある。東京と言えば六本木と新宿二丁目がミックスされたような街である。今回韓国出張中に一緒にツアーしているゲイのメンバー達の希望もあって、とりあえず潜入してみることにした!写真のとおりホモ・ヒルと呼ばれるエリアはとっても怪しい小道のエリアである。一人で歩いていると突然後ろから襲われそうな雰囲気さえ漂っている。



ところがいったんクラブの中に入ってみると大変賑やかであり突然韓国人のドラッグクイーンが声をかけてきた!(写真参照)思わず化け物!と叫びそうになるくらい顔がでかい!!!
こんなのがうようよしていた!もちろんこんな化け物ばかりでもなく一見ストレートの男の子たちも沢山たむろっていた。



写真を撮れなかったのが悔しいが、そこいらじゅうで韓国人の若い男の子同士が抱き合ったりキスし合ったり!潜入した夜は2時間程度しかホモ・ヒルには滞在しなかったが自分も韓国人の男の子からナンパされた?!自分がアメリカ人の団体と一緒にだったのを分かっていただけ普通に通語で『どこから来たの?相手はいるの?』それを聞いていたアメリカ人の友達がふざけて『こいつは妻も子供も彼女いるよ!』と返答すると?!『じゃあ彼氏も必要じゃないの?』と返してくるほど?! 保守的な韓国では信じられないくらいオープンな雰囲気であった。

韓国は今だにとっても保守的な国であると感じる。男性社会であり年功序列が厳しく!今回のツアーで雇っているバスドライバーやガイドは50歳以上で絶対に西洋の食事はしないくらいである。ゲイの社会的立場もまだまだ認められていない社会であるようである。しかし、このホモ・ヒルに潜入してみると、彼らの多くはデザイナーであったりエンターテインメントのプロデューサー的仕事をしていたり!もちろんこのエリアにはストレートの女性も多く遊びにきていて彼女たちの多くはエリートキャリアの身分であったりする。韓国の最新の文化やエンターテインメントはこのエリアあたりでソーシャライズされた人間たちが発信しているのでは?!と思うひと夜であった。



EXECUTIVE PRODUCER: 松延 智明

Project 2.

みなさまにとって「身近な存在」になるべく、メンバー全員、得意分野で勝負します!

< ①入社歴(社会人歴) ②いちばん得意な仕事 ③得意・経験分野 >

松延智明(まつのかぐともあき)

- ① 11年(18年)
- ② 企業広報のサポート
- ③ 雑誌・社内報、映像、写真撮影、ポスター、雑誌・新聞広告、Webサイト、展示会、キャンペーン・イベント他。いろいろ経験してきましたが、目指すところはワンストップサービスです。



宮崎詩子(みやざきうたこ)

- ① 12年(ひみつ)
- ② ショー制作
- ③ 展示会、プレスカンファレンス、雑誌、キャストイング、キャンペーン・イベント他。英語でのショー制作を実現したいと思っています。

広川映里夏(ひろかわえりか)

- ① 3年(ひみつ)
- ② 英語(TOEIC 985点)
- ③ アテンド通訳、英・白翻訳、外国とのコレスポネンダンス、ステージ(ショー)、キャンペーン・イベント他。得意な英語を活かして仕事の幅を広げていきたいです!

浦山善明(うらやまよしあき)

- ① 1年(8年)
- ② たたいま勉強中
- ③ 映像、キャンペーン・イベント、ステージ(ショー)、展示会、プレスカンファレンス他。いまの目標は、ミューナな性格を活かして、音楽フェスに挑戦することです!

実績は当社ホームページでご紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

Project 3.

PRODUCER: 須田 潤一



どうも〜。第3Pです!!

どうも!! 妻の第3Pです!!

皆さんこんにちは。須田です。飯塚です。黒川です。大島です。秋葉です。5人で第3プロジェクトやっています。今回、弊社の新体制に伴い各部を adtain に載せさせていただき事になってるようなので改めて、第3Pを紹介すると・・・何でしょう? とりあえず、第3Pは19期下期からSTARTしたチームで21期上期で2年目になります。STARTメンバーは、須田・飯塚・黒川 この3人で始まりました。3人での“誓いの言葉”なんてものはありませんでしたが・・・。

そんな日々の中で、大島が今年7月頃他の部署から、秋葉が10月から入社しまして、今日の新生第3プロジェクトと相成りました。よろしくお願いたします。

第3プロジェクトメンバー紹介

須田 潤一 とにかく、顔が怖い。実はかなり(他)寂しがり。しかし、仕事はかなり早い!!

飯塚 かおり とにかく、冷たい(顔に)。黒川と仲が悪い。しかし、仕事は早い!!

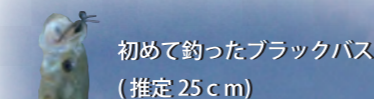
黒川 和紀 とにかく、マツコじゃない。飯塚と仲が悪い。しかし、仕事は結構早い!!

大島 有貴 とにかく、ちがひ。秋葉の教育係。しかし、仕事はまあまあ早くできた!!

秋葉 悠介 AKB とにかく、未知数。大島からも教育を受けている。しかし、仕事は遅い!!

といったメンバーでいろんな仕事に常にトライしてるチームです。会社でのポジションは、特殊部隊みたいなポジションのチームかと思っています。前例のないイベントの企画・制作・進行・運営!! 大得意&大好きです!!

メンバー、一同皆様からのお声掛けお待ちしております!! 第3Pをよろしくお願いたします。



初めて釣ったブラックバス(推定25cm)

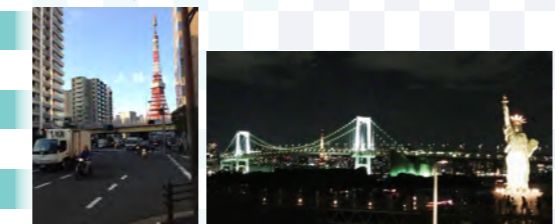
入社後に学んだこと、今の心境

阪本 崇裕



10月に入社しました阪本崇裕(サカモト タカヒロ)と申します。現在、私は埼玉県東の坂戸市に住んでいます。小学校・中学校・高校は坂戸市内、大学は埼玉県飯能市、さらに前職は埼玉県内のトヨタディーラーの営業マンという生粋の埼玉県民です。

そんな埼玉県を愛して止まない私が adproject に入社してまず感じたのは、朝の満員電車がとんでもないということ。今まで電車にもろくに乗らず24年。「PASMO の存在を知ったのもつい最近」という社会人には、貴重な体験となります。慣れない経験にさっそく肩こりが発症し、毎晩寝る前にマッサージ機でカラダを癒す日々です。さらに東京に一度来るか来ないかだった私は東京タワーを昼間初めて見て、思わず写真を撮ってしまう始末。他にも今までテレビでしか見たことのない建物を、仕事に目にする機会も多く、興奮してつい写真を撮ってしまいます。



↑麗しの東京タワー ↑イベント帰りのお台場

これからも出張へ行ったら時は写真を撮って各地の有名な建物・風景を記録に刻みたいと思っています。「記憶より記録」人間忘れる生き物なのだから形にして忘れないようにする事、何事も前向きに経験し失敗を恐れない、を motto に日々精進してまいります。

さて、せっかく頂いた自己紹介の機会なので、私が日頃、心がけていることをお伝えします。それは、人の第一印象は会って3~5秒で決まり、その情報のほとんどを視覚情報から得ているというメラビアンの法則です。初対面の人物を認識する割合は、視覚情報 55% 聴覚情報 38% 言語情報 7% と言われてます。会話の内容もさることながら、人は相手の外見を重視しているため、第一印象で清潔感を与え好印象を持っていただけるように注意しています。

そして、外見で人様に好印象を抱いていただくにはスマートなカラダはかなり重要です。会社から皇居までかなり近いことに(最近)気づき、ジョギングに励みカラダをしぼるべく、早速シューズも購入してしまいました。健康増進、ダイエット目的の方、さらにはガチのランナーの方まで、阪本と一緒に走ってくださる方を大募集中です。

いつでもお声をかけてください!

Project 4.

EXECUTIVE PRODUCER: 岩下 信而



そこで、今秋発足の新組織の最大の目玉、第4プロジェクトのお話。まずはメンバー紹介です。

~弊社が一番熱いココロの営業~
和顔のデジタル男
橋元大輔

~UCC 様一筋で遠慮を迎えた~
平田元春(孫ひとり)

~大病を克服し
そろそろ銀座が恋しい
トップセールスマン~
岩下日出雄

~愛すべき道産子新入社員~
伊藤健翔

~トレレからイラレまでを駆使する
時代を超えた立体デザイナー~
鶴田勤

といった弊社のエンターテインメントビジネスを支えてきたシニアプロデューサーたちが融合した実験的なプロジェクトです。

楢垣俊吾社長率いる新生 AD プロジェクトにおいては、直球ど真ん中勝負の第1から第3プロジェクトとは一味違う、「清濁併せ飲む大人のプロジェクト」第4プロジェクトに、従来以上のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また先月本紙でご紹介した、アメリカチップジャパン社の、超小型LCD内臓 Book など世界最先端ツールの数々も、第4プロジェクトがご紹介しております。夢いっぱいのもて面白いうツルですので、ぜひ一度ご提案の機会を頂戴できれば幸いです。それではお打合せの機会にお会いしましょう、Ciao!